



いまいは
今

vol. 253

発行 今井町並み保存会
発行日 令和3年7月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

今井町の「町家」について

(今井町並み保存事務所より)

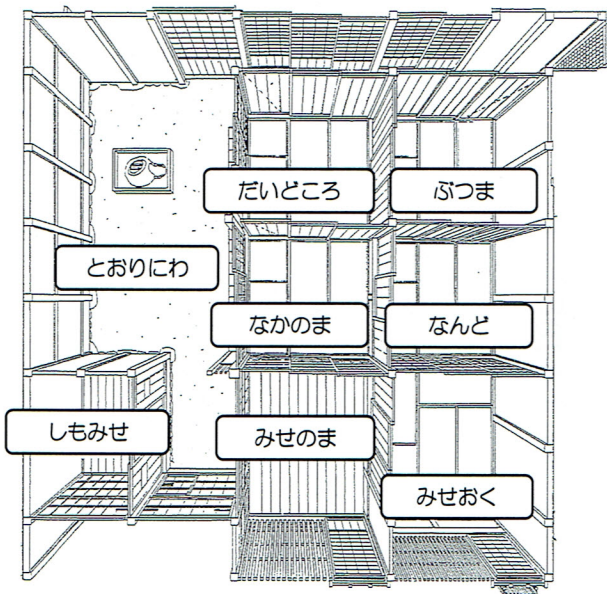
全国でも最多を誇る今井町の伝統的建造物について、ご存知の方も多いかと思われませんが、皆さんは今井町の町家の特徴についてどこまでご存知でしょうか。

今回は先月の6月号にてご紹介いたしました今井町並み保存事務所の職員の方々に今井町の代表的な間取りである二列六室型の「町家の特徴」についてお聞きしましたのでご紹介いたします。

今井町の町家の外観には江戸時代より一般的となった「格子構え」がよく見受けられます。古くは「隔子(こうし)」とも書かれていたと言われています。一般的な格子は縦・横に組み合わせたものが多いですが、今井町では縦材を主に組まれているものが多くみられます。また格子は日照や風量の調整に役立っており、視覚的に外側から内側はあまり見えにくいといった特性もあります。

豪壮な家では「しもみせ」や「みせ」の前面に太格子、「みせおく」は細格子を使用している点も今井町における町家の特徴の一つとも言えます。「みせ」部分前面の格子は商いを止めてから取り付けられたもので、昔は殆どが板戸構えだったと言われています。「しもみせ」「みせ」には言葉の通り商いをするため、あげ戸(現在のシャッターのようなもの)を取り付け、開放できるようにして商品が並べられていました。このようなことから「しもみせ」や「みせ」といった名称が現在にも残っています。

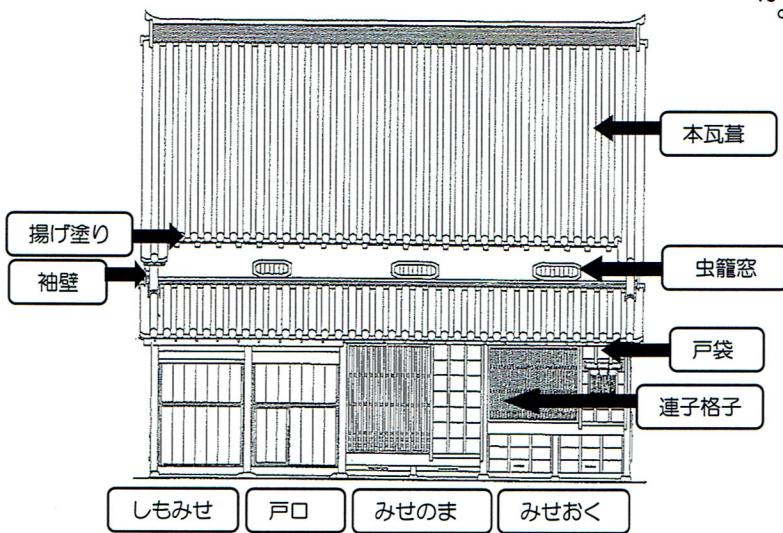
その他にも重厚な「本瓦葺(ほんがわらぶき)」、軒裏を漆喰で仕上げる「揚げ塗り」、そして意匠を凝らした「虫籠窓(むしこまど)」や「袖壁(そでかべ)」など各町家によってその形や大きさは様々です。



▲ 2列6室型の町家の間取り

また屋根に着目すると、装飾が施された「飾り瓦」が見受けられます。魔除けや悪い気を追い払う鬼瓦や鍾馭(しようき)、かつて商売で賑わっていたことから商売繁盛を願った恵比寿瓦や大黒瓦など瓦一つをとっても、たくさん種類があり、人々の願いや思いを感じることが出来ます。

以上が整備事務所の職員の方々からの町家の特徴についてのご紹介です。なかなか遠出が出来ない今だからこそ、今井町に数多く残る昔から受け継がれてきた建物をじっくり見ながらゆっくり散策してみても良いのではないのでしょうか。



▲ 2列6室型の町家の立面

全国町並み保存連盟総会は

z o o m で開催

コロナの渦中、全国町並み保存連盟の総会は東京の事務所を基地にして全国の会員との総会を書面とz o o mの2本立てで6月5日10時50分から12時30分に開催されました。

通常なら総会は全国の加盟団体が総会会場を引き受け、開催地の見学と、会員の交流が付帯するので、各地の活動状況が確認できて貴重な経験を積めるのです。

今井町はこの全国町並み保存連盟創設の団体ということだが、第26回の全国大会を今井町で開催後は単なる参加団体の1枠であるだけになっていたのを、会長が保存会の文化部長当時から参加をしてくて、今では監事の立場で参加できるようになってきました。

そして全国大会には出来るだけ複数の会員に参加してもらい、今井町の存在を再認識してもらってきました。

しかし、総会に関しては一人だけの出席に終わっていました。

今回はコロナ禍にあつて、総会がz o o mでの開催であるので、機器の操作を木本事務局長に指導していただき、大橋会計も一緒にz o o m参加しました。

今回の1団体複数の参加はz o o mで開催であつたからこそ実現できました。それでもやはり全国町並み保存連盟の大

きな大会は、現場でない臨場感に欠けるきらいはあるがやむを得ないでしょうね！
議事の方は委任状91名超、z o o m参加25名の賛成を得てすべてが議決されました。

次は11月12・13日に行われる全国ゼミ奈良大会(メイン会場は奈良町)です。

コロナが落ち着いていたら近くなので大勢で参加しましょう。

NHK大河ドラマ

「黄金の日々」再放送

昭和53年に放映されたNHK大河ドラマ「黄金の日々」が毎週日曜日、午前6時からBSプレミアムで再放送されています。



原作『黄金の日々』
城山三郎／著
(新潮社)

戦国時代の堺を舞台に武将と対等に渡り合う商人たちの姿が描かれています。市川染五郎(現・松本白鸚)演じる主人公の助左衛門は今井宗久の下で、いつか船を手に入れて、海外で大きな商いをしたいという野心を持っています。

今井宗久を演じているのは丹波哲郎で、

信長と開戦を主張する他の会合衆から後ろ指をさされつつも堺を守るためという一念で和睦を結んだという宗久像が描かれています。

火坂雅志氏の『覇商の門』で描かれた信長でさえも自分の商いのために利用しようとした、したたかな宗久像とは異なっており、その違いが面白いです。

今井宗久生誕500年、宗久の魅力をドラマから感じとってください。

新ボランティア自己紹介

後岡道雄さん

私は今井町から近い城殿町に住んでいます。子供の頃から今井町はよく訪れてました。昨年、地域づくりの勉強のため毎月通うようになって改めて町の良さを発見しました。私は古民家に興味があります。今井町は古民家がたくさんあります。特に格子やくぐり戸、虫籠窓が好きです。また、あてまげという四つ角の工夫も面白いです。まだまだ勉強することがたくさんありますが、おもてなしの気持ちをもって今井町の良さを伝えたいと思います。

今井往来

7月7日	午後7時～ 行者まつり
7月16日	日待講(太神宮さん)
7月23日	地藏まつり